

科 目	地理総合	学年・類型	1年 普通科・国際文理科・商業科	単位数	2
教 科 書	高等学校新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）				
副 教 材 等	高等学校新地理総合ノート（帝国書院）				
学 習 目 標	1 世界の人々の生活・文化に関する地域的特色とその動向を、自然環境・社会環境と関連づけて理解させる。 2 世界と日本を比較し多面的に考察させることによって地理的な見方や考え方を養う。 3 国際社会で起こっている事象を的確・冷静に捉え分析して、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
学 習 心 得	地理学は極めて総合的な学問であり、高校で学ぶ内容はすべて根本的に必要な考え方です。具体的には、気候、資源、産業、人口、民族などの系統的内容はもちろんですが、過疎・過密問題、農業のグローバル化、新興国の発展による世界情勢の変化、地球温暖化による異常気象など地理がカバーする範囲は極めて広く、時空間的かつ学際的に地域を理解することも重要です。また、小論文の材料としても最適な学問であるため、普段から新聞の社会欄などに目を通す習慣を身に付けましょう。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	1 地図と地理情報システム (1)地球上の位置と時差 (2)地図の役割と種類 2 結び付きを深める現代世界 (1)現代世界の国家と領域 (2)グローバル化する世界 3 生活文化の多様性と国際理解 (1)世界の地形と人々の生活	・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や時差の求め方を通して、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身につける。 ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。			
二 学 期	(2)世界の気候と人々の生活 (3)世界の言語・宗教と 人々の生活 (4)歴史的背景と人々の生活 (5)世界の産業と人々の生活 4 地球的課題と国際協力 (1)複雑に絡み合う地球的課題 (2)地球環境問題 (3)資源・エネルギー問題	・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。			
三 学 期	(4)人口問題 (5)食料問題 (6)都市・居住問題 5 自然環境と防災 6 生活圏の調査と地域の展望	・世界各地で見られる人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 ・自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、自然災害の規模や頻度、備えや対応の重要性などについて理解する。 ・生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。			

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	現代世界の地域的特色と日本及び世界の地理的事象の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	・ 定期考査 ・ 授業中の活動への取組 ・ ワークノート・ワークシートの記述・作業内容 ・ ルーブリック評価
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	・ 定期考査 ・ ワークノート・ワークシートの記述・作業内容 ・ 主題自主設定レポートの記述内容 ・ ルーブリック評価
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	・ 授業に取り組む態度 ・ ワークノート・ワークシートの記述・作業内容 ・ 主題自主設定レポートの記述内容